

河内町液状化マップ

1 マップ作成の目的

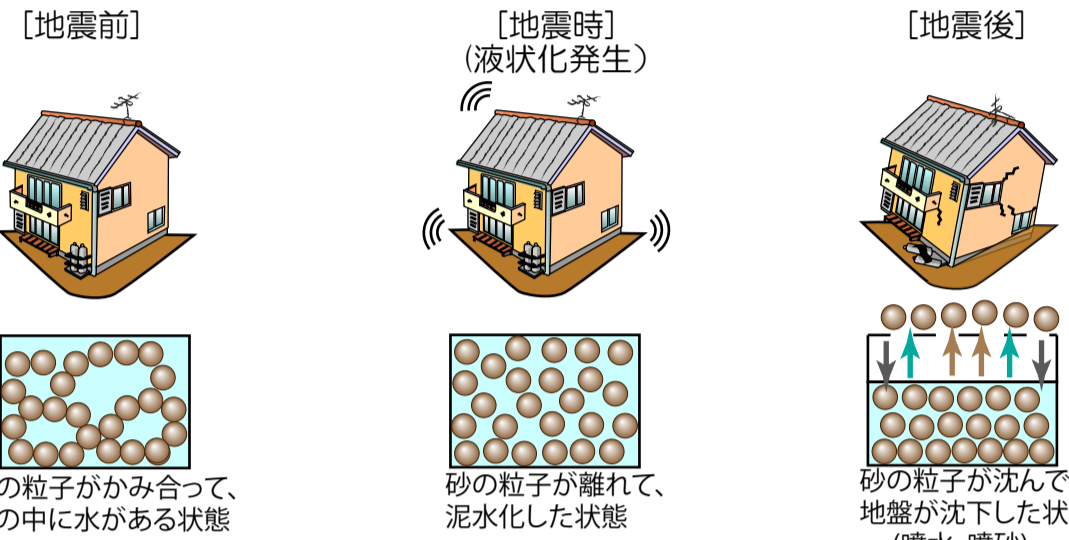
私たちが住む地域の液状化の可能性をお知らせすることによって、建物やその敷地周辺の液状化対策

の検討を促進していただくことを目的としています。

2 液状化とは

液状化とは、地震によって地盤が一時的に液体のようになってしまう現象のことを言います。液状化の起こりやすい地盤は、川の近くの比較的軟弱な地盤

く、地下水位が高く、緩い砂質土のところ。液状化危険度が高い地域では、耐震補強や家具の固定を行っておくことが大切です。



3 液状化マップとは

液状化マップは、右のデータを活用し、50メートルメッシュ毎の液状化のしやすさを表したものです。

- 微地形区分やボーリングデータに基づき、50メートルメッシュで整理した地盤データ
- 「ゆれやすさマップ」作成過程で得られた地表計測震度等のデータ

想定した地震

この液状化マップの想定地震は、裏面のゆれやすさマップと同じ「プレート境界茨城県南部地震」とし、裏面の震度が生じたときの液状化の可能性を予測しました。

4 液状化すると

液状化自体により人命が直接被害を受けることはありませんが、建物や構造物の基礎である地盤が破壊され、右のような被害が出る場合があります。

- 家が傾いたり最悪の場合には倒れる
- 道路がひび割れたり崩れて通行不能になる
- 構造物が破壊されたり橋脚がずれ落ちる
- 下水道のマンホール等軽いものが浮き上がる
- 地下に埋めてある水道管などが破壊される

5 液状化発生の条件

液状化は次の条件を満たしたときに発生します。

- 粒径0.1mm~1.0mmの砂地盤であること（粘性の小さい粘土や礫を含んでいる場合にも液状化する可能性がある）
- 砂の密度が小さいこと（地盤が緩いこと）水中で堆積した地盤は通常ゆるくなっているため液状化しやすい
- 地下水位が高いこと（水がないと液状化は生じない）
- 地震などの振動が加わること

6 このマップをご覧いただく場合の注意事項

このマップをご覧いただく場合は次の点にご注意ください。

- (1) 液状化危険度の判定には、「道路橋示方書・同解説V耐震設計編（平成14年3月）」にある手法（FL-PL法）を準用して求めたPL値を用いました。PL値とはその地点での液状化の危険度を表す値です。
- (2) 液状化危険度判定は、ボーリングデータに基づき、沖積砂質土層および沖積礫（れき）質土層を含む地盤を計算しました。
- (3) 微地形区分およびボーリングデータに基づき、沖積砂質土層および沖積礫（れき）質土層を想定して液状化判定をしたもので、実際とは異なる場合があります。
- (4) 既に、液状化しやすい地盤を改良して土地利用されている場所については、地盤改良がなかったものとして計算しています。

液状化の被害事例

液状化による路面の凹凸と噴砂の例



2007年 新潟県中越沖地震
写真：首都大学東京 都市環境学科 土質研究室

災害対策関連施設

番号	施設名	所在地	電話番号
1	河内町役場	河内町源清田1183	0297-84-2111
2	龍ヶ崎消防署	龍ヶ崎市1759	0297-62-5131
3	河内出張所	河内町片巻1742	0297-86-2652
4	龍ヶ崎警察署	龍ヶ崎市2505-2	0297-62-0110
5	金江津駐在所	河内町金江津4201-2	0297-86-2542
6	源清田駐在所	河内町源清田1936	0297-84-2050
7	長竿駐在所	河内町長竿3648	0297-84-0110
8	生板駐在所	河内町生板2647-1	0297-84-2240

液状化凡例

液状化の可能性	液状化の対策など
高い	液状化の可能性がかなり高い。液状化対策が必要である。
やや高い	液状化の可能性が高い。液状化対策が一般に必要である。
低い	液状化の可能性は低い。特に重要な構造物に対して、液状化対策の検討が必要である。
極めて低い	液状化の可能性はかなり低い。液状化対策は一般に不要である。

避難所

平成22年3月1日現在

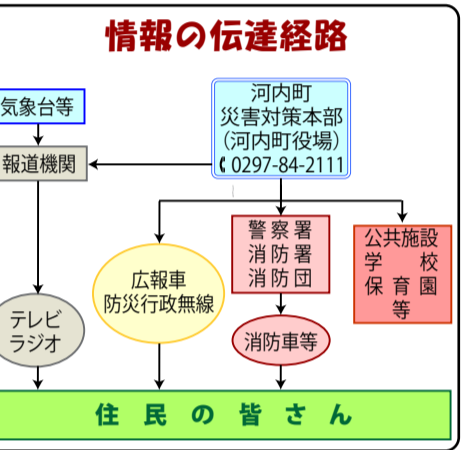
番号	施設名	所在地	電話番号
1	生板小学校	生板2506	0297-84-2430
2	源清田小学校	源清田1942	0297-84-2008
3	長竿小学校	長竿221	0297-84-2637
4	金江津小学校	金江津4465	0297-86-2319
5	河内中学校	源清田57	0297-84-2355
6	金江津中学校	金江津7501-2	0297-86-2622
7	中央公民館	長竿3689-1	
8	農業者トレーニングセンター	長竿3566-1	0297-84-2843
9	農村環境改善センター	長竿3689-1	
10	東共同利用施設「つつみ会館」	金江津645-227	0297-86-2090
11	西共同利用施設	源清田5893-1	0297-84-4888
12	福祉センター	生板9593	0297-84-3699
13	第1地区共同利用施設	幸谷64-2	0297-84-3871
14	第2地区共同利用施設	生板9593-2	0297-84-2171
15	第5地区共同利用施設	片巻905	0297-86-3156
16	田川共同利用施設	田川1520-3	0297-86-2853
17	田園都市センター	十三間戸496-1	0297-86-2232
18	かわち水と緑のふれあい公園	長竿5412	

ヘリコプター臨時離発着場

番号	名称	所在地	電話番号
1	つつみ会館運動場	金江津利根川河川敷	0297-84-2111
2	かわち水と緑のふれあい公園	長竿5412	

医療施設

施設名称	所在地	電話番号	
医療施設	竹尾医院	金江津4747	0297-86-2436
緊急医療施設	龍ヶ崎済生会病院	龍ヶ崎市中里1-1	0297-63-7111
	取手協同病院	取手市本郷2-1-1	0297-74-5551



避難方法

自宅

地震が起きてても、あわてて逃げるのではなく、隣近所で協力して初期消火や救助活動にあたりましょう。避難は最後の手段です。

避難所

どこへ避難するの？
大きな地震が起きたときは、まず、あらかじめ指定されている避難所に避難するのが原則です。
ここで、安否の確認や被害の状況を確認します。

避難するとき

どうやって避難するの？
原則として徒歩で避難しましょう。車を使うと渋滞を引き起こし、消防・救急活動などに支障を来します。

凡例

- 町役場
- 避難所
- 災害対策関連施設
- 消防署・出張所
- 警察署・駐在所
- 医療施設
- ヘリコプター臨時離発着場
- 飲料水兼用貯水槽
- 首都圏中央連絡自動車道
- 第1次緊急輸送道路
- 第2次緊急輸送道路
- 主要地方道
- 一般県道

わが家の防災メモ

わが家の避難場所 家族が離ればなれになったときの集合場所

家族の名前	生年月日	血液型	勤務先などの電話番号

行政区など	お名前	連絡先
行政区長		
自主防災会長		

災害伝言板

災害時は電話が繋がりにくく、切れやすくなります。伝言板を活用ください。

災害用伝言ダイヤルの使い方

①伝言を登録する場合（音声案内があります）
[17]をダイヤル → 音声ガイドに従い[1]をプッシュ
→ 0 2 9 7 - x - x - x - x ×××××（被災地の人の電話番号を入力）
②伝言を聞く場合（音声案内があります）
[17]をダイヤル → 音声ガイドに従い[2]をプッシュ
→ 0 2 9 7 - x - x - x - x ×××××（被災地の人の電話番号を入力）
詳しくは <http://www.ntt-east.co.jp/saigai/>

災害用フロードバンド伝言板(web17)の使い方

①伝言を登録する場合
<https://www.web17.jp>にアクセス（画面案内があります）
0 2 9 7 - x - x - x - x ×××××（被災地の人の電話番号を入力）
伝言を登録する（パスワードの登録も可能）
②伝言を閲覧する場合
<https://www.web17.jp>にアクセス（画面案内があります）
0 2 9 7 - x - x - x - x ×××××（被災地の人の電話番号を入力）
伝言の閲覧、追加登録をする
詳しくは <http://www.ntt-east.co.jp/saigai/web17/index.html>

携帯・PHS版災害用伝言板

携帯電話・PHSから自身の安否状況登録すると、家族や知人が携帯電話・PHS、パソコンから登録された方の安否情報を確認できるサービスです。
詳しくは 各携帯電話会社まで

このマップについてのお問い合わせは
河内町都市整備課都市計画係
電話：0297-84-2921
発行：平成22年3月

